

関東地方整備局

第 2 3 1 号

関東の恋

◆ 目 次 ◆

◆◆関東地方整備局の動き◆◆

1. 関東地方整備局で36名のTEC-FORCE予備隊員を登録します ～災害時の被災地方公共団体への支援体制を強化～
2. 神栖市と合同で緊急支援物資輸送訓練を実施します
3. 首都圏外郭放水路・防災地下神殿ライトアップツアー始動! ～地下神殿で幻想空間体験! 流域治水ライトアップコース～
4. 災害対応力を高めるため、都県との合同研修を実施します ～都県との連携を強化し、被災地における一体的な活動を促進～
5. 新たな「首都圏広域地方計画中間とりまとめ(案)」を公表します
6. 全国「みどりの愛護」のつどい及び全国都市緑化祭を開催します
～令和9年の開催地がGREEN×EXP02027会場に決定しました!～
7. 令和7年度 工事事務防止強化月間 ～工事事務防止に向けた安全対策の取り組み～
8. 東京都市圏における物資流動調査の中間報告について
9. 荒川水系河川整備計画フォローアップ委員会の開催について
10. 利根川水系利根川・江戸川河川整備計画フォローアップ委員会の開催

◆◆国土交通本省の動き◆◆

1. 直轄地下駐車場における止水板の確認結果
2. “世界に類のない砂防の観測機器で台湾の災害対応を支援～さらなる災害のおそれがある河道閉塞への対応に不可欠な観測機器を提供～”
3. “「群マネの手引き Ver. 1（群マネ入門超百科）」を公表します～地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）の全国展開へ～”
4. “「不動産情報ライブラリ」コンテンツ追加およびデータ更新！～「都市計画道路」データの追加等を10月29日に実施～”
5. 下水道管路のマネジメントに関する技術的事項の議論を行います～第3回下水道管路マネジメントのための技術基準等検討会を開催～

この広報に関する皆様からのご意見・ご質問・ご感想をお待ちしております。
どしどしお寄せ下さい。あわせて、メールマガジンの配信先が変更になられた場合等には、
左記のアドレスまでご連絡下さい。 <mailto:ktr-mado@gxb.mlit.go.jp>

事務局 国土交通省 関東地方整備局
広報広聴対策官室
TEL:048-600-1324 FAX:048-600-1369

◆◆関東地方整備局の動き◆◆

1. 関東地方整備局で36名のTEC-FORCE予備隊員を登録します ～災害時の被災地方公共団体への支援体制を強化～

災害対策マネジメント室
港湾空港部

関東地方整備局では、本日10月1日付で36名を「TEC-FORCE 予備隊員」として名簿に登録します。

今回登録された隊員を、災害発生時に必要に応じて被災地等に派遣することで、被災地方公共団体への支援体制を強化します。

○TEC-FORCE 予備隊員とは

災害対応に係る専門的な知識を有する民間企業等の人材を「TEC-FORCE 予備隊員」として名簿に登録の上、災害発生時に必要に応じ、非常勤の国家公務員として採用し、被災地等で TECFORCE の一員としての活動等に従事する制度です。

○取材について

11月7日（金）に、関東地方整備局幹部より「TEC-FORCE 予備隊員（港湾分野を除く）」へ訓示を行います。

この記事や添付資料を、以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kisha_02751.pdf

2. 神栖市と合同で緊急支援物資輸送訓練を実施します

港湾空港部
神栖市

関東地方整備局港湾空港部では、大規模地震や豪雨による洪水・土砂災害等により陸路が寸断された場合の海上からの支援を想定し、波崎漁港で関東地方整備局と神栖市、茨城県による緊急支援物資輸送訓練を実施します。

○訓練概要

訓練名：関東地方整備局の船舶による緊急支援物資輸送訓練

訓練場所：波崎漁港（〒314-0407 茨城県神栖市波崎新港9624付近）

日程：令和7年10月 9日（木）11：30～12：00

予備日：令和7年10月16日（木）11：30～12：00

訓練内容：沿海域航行訓練（鹿島港～波崎漁港）、接岸訓練

緊急支援物資輸送訓練、給水訓練

関東地方整備局の船舶を波崎漁港の－5.0m 岸壁に接岸し、緊急支援物資の受け渡し等の訓練を行います。

訓練参加者：神栖市長 石田 進

（神栖市副市長 石川 祐治（予備日における代理参加））

茨城県

関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所長 黒瀬 康夫

この記事や添付資料を、以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kisha_02753.pdf

3. 首都圏外郭放水路・防災地下神殿ライトアップツアー始動！ ～地下神殿で幻想空間体験！流域治水ライトアップコース～

江戸川河川事務所

江戸川河川事務所が管理する治水施設である首都圏外郭放水路では、防災ツーリズムにおける8つのパワーアップ計画の取り組みの一つとして、ツアーの基幹コースである「地下神殿コース」を更にパワーアップさせた新規ツアーを首都圏外郭放水路ホームページにて令和7年10月11日（土）より受付開始し、翌月の令和7年11月11日（火）より本格始動します！

首都圏外郭放水路は埼玉県春日部市に位置し、地底50mを流れる世界最大級の地下放水路で、中でも調圧水槽は「防災地下神殿」とも称される壮大な地下施設です。

新コースは、令和7年3月より開始した「首都圏外郭放水路 防災ツーリズム 8つのパワーアップ計画」のうち最後発の取組として準備を進めておりましたが、令和7年11月11日（火）より本格始動となります。

新コースの名称は、「地下神殿で幻想空間体験！流域治水ライトアップコース」。「水害から日常を守る、首都圏外郭放水路とみんなの流域治水」をテーマに4つのフェーズ（1. 豪雨の予兆 2. 洪水発生（危機） 3. 首都圏外郭放水路稼働！ 4. 晴れ上がり（日常回帰と防災意識向上））でプログラムを構成し、防災地下神殿を様々なライティングと大迫力の音で幻想的に彩ることで、普段のたたずまいとは全く異なる地下空間へと変貌させます。

本ツアーを通して多くの見学者の皆様に楽しく「防災地下神殿での特別な体験」と「災害の自分事化」を身につけていただきます。

この記事や添付資料を、以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kisha_02772.pdf

4. 災害対応力を高めるため、都県との合同研修を実施します ～都県との連携を強化し、被災地における一体的な活動を促進～

災害対策マネジメント室

災害対応力を高めるため、都県と合同で研修を実施します。研修により連携を強化し、被災地における一体的な活動を促進します。

1. 日時

座学研修：令和7年10月24日（金）10：30～16：00

実地研修：令和7年11月 5日（水）10：00～17：00

令和7年11月18日（火）10：00～17：00

2. 会場

座学研修：関東地方整備局 災害対策本部室

（さいたま新都心合同庁舎2号館14階）

実地研修：関東地方整備局 関東技術事務所

関東 DX・i-Construction 人材育成センター

（千葉県松戸市五香西6丁目12の1）

3. 研修内容

公共土木インフラなどに係る災害対応（被災状況調査等）

この記事や添付資料を、以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kisha_02789.pdf

5. 新たな「首都圏広域地方計画中間とりまとめ（案）」を公表します

首都圏広域地方計画推進室

国土交通省関東地方整備局・関東運輸局

首都圏広域地方計画協議会では、2050年、さらにその先の長期を見据えつつ、今後概ね10年間の将来を見据えた首都圏の国土形成の方針及び目標等を示す、新たな「首都圏広域地方計画」の策定に向けた検討を進めています。

このたび、新たな「首都圏広域地方計画 中間とりまとめ（案）」を作成しましたので、公表します。

首都圏広域地方計画は、国土形成計画法第9条に基づき国土交通大臣が定める広域地方計画で、首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県、山梨県の1都7県の区域）を対象としております。

国の関係機関、都県、政令指定都市、経済団体など38機関で構成された「首都圏広域地方計画協議会」では、令和4年度より、新たな「首都圏広域地方計画」の策定に着手し、これまで17回の有識者懇談会を開催し、有識者からご意見を伺いながら検討を進めてきました。

このたび、令和7年10月時点での検討状況を整理し、新たな「首都圏広域地方計画 中間とりまとめ（案）」を作成しましたので、公表します。

今後、圏域内市町村からの計画提案等を経て、今年度末頃（令和8年3月頃）の計画策定（国土交通大臣決定）を目指し、引き続き取り組んでまいります。

この記事や添付資料を、以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kisha_02791.pdf

6. 全国「みどりの愛護」のつどい及び全国都市緑化祭を開催します ～令和9年の開催地がGREEN×EXPO2027会場に決定しました!～

建政部

令和9年3月から9月にかけて、大阪花博以来37年ぶりとなるA1クラスの国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）が神奈川県横浜市で開催されます。

このたび、第38回全国「みどりの愛護」のつどい及び全国都市緑化祭の開催地が、GREEN×EXPO 2027の会場に決定しましたのでお知らせします。

全国「みどりの愛護」のつどいは、全国の公園緑地等の愛護団体等が一堂に集い、広く都市緑化意識の高揚を図り、緑豊かな潤いのある住みよい環境づくり等を推進することを目的として毎年全国各地で開催されています。

本行事については、国際花と緑の博覧会（大阪花博）において第1回が開催され、国際園芸博覧会とゆかりの深い行事であることから、GREEN×EXPO 2027の会場において開催いたします。

また、例年全国各地で開催されている全国都市緑化祭についても、令和9年においては、GREEN×EXPO 2027の会場において開催されます。

両行事の開催概要及びGREEN×EXPO 2027につきましては、別紙をご参照ください。

この記事や添付資料を、以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kisha_02779.pdf

7. 令和7年度 工事事務事故防止強化月間～工事事務事故防止に向けた安全対策の取り組み～

企画部・港湾空港部

工事安全対策の向上を図るため、工事稼働現場が増加する11月を「工事事務事故防止強化月間」とし、工事安全対策に重点的に取り組みます。

関東地方整備局では、平成13年度より「重点的安全対策」を定め、工事事務の防止に努めているところです。

令和7年度の関東地方整備局における工事事務発生状況は9月30日現在で22件であり、前年度同日時点の発生件数（10件）と比較すると増加傾向にある上、工事関係者が死亡する事故が1件発生しており、これから工事の最盛期を迎えるに当たり、より一層の注意が必要です。

工事安全対策の向上を図るため、工事稼働現場が増加する11月を「工事事務事故防止強化月間」とし、別紙のとおり実施要領を定め、管内関係事務所に通知するとともに、関係業団体に協力を要請し、工事安全対策に重点的に取り組みます。

なお、令和7年度の工事事務発生状況の詳細、および事故事例については、「関東地方整備局工事の安全対策」で検索いただきご確認ください。

この記事や添付資料を、以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kisha_02818.pdf

8. 東京都市圏における物資流動調査の中間報告について

国土交通省関東地方整備局企画部
(東京都市圏交通計画協議会事務局)

東京都市圏交通計画協議会では、令和5年度から令和6年度にかけて「第6回東京都市圏物資流動調査」を実施いたしました。

この調査は、東京都市圏内に立地する事業所を対象に、どのようなモノが、どれだけ、どこからどこへ移動しているかなど、「モノ」の動きを把握し、東京都市圏における総合的な都市交通計画の推進に資することを目的としています。

このたび、集計が完了した部分について、中間報告として公開します。また、調査概要や中間報告の内容をまとめた「東京としけん交通だより vol.39」を発行しますので、お知らせします。

引き続き、調査結果のデータ整理や分析を進め、年度内を目途にとりまとめを行う予定です。

＜中間報告の主な内容について＞

- ・この10年間で、工場が減少する一方、物流施設は増加している。
- ・物流施設のうち、約3割が個人宅向け貨物を扱っている。
- ・宅配の受取頻度は週に1回程度で、再配達はやい世代ほど多い。

＜第6回東京都市圏物資流動調査について＞

- ・調査結果（中間報告）は政府統計の総合窓口（e-stat）にて公開しています。
- ・調査概要や中間報告等は東京都市圏交通計画協議会ホームページで公開しています。
- ・調査概要や中間報告の内容をまとめた「東京としけん交通だより vol.39」を次頁以降に添付していますのでご覧ください。

＜東京都市圏交通計画協議会の構成団体について＞

国土交通省関東地方整備局、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市、独立行政法人都市再生機構、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社

この記事や添付資料を、以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kisha_02817.pdf

9. 荒川水系河川整備計画フォローアップ委員会の開催について

河川部
荒川上流河川事務所
荒川下流河川事務所
荒川調節池工事事務所
二瀬ダム管理所

「令和7年度 第1回 荒川水系河川整備計画フォローアップ委員会」を開催しますのでお知らせします。

1. 開催日時

令和7年11月5日（水）10:00～12:00（予定）

2. 開催場所

さいたま新都心合同庁舎2号館5階 共用大会議室501

住所：埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1

開催場所の最寄り駅：JR 京浜東北線・高崎線・宇都宮線「さいたま新都心駅」から徒歩約5分、JR 埼京線「北与野駅」から徒歩約7分

3. 議事（予定）

- ・荒川水系河川整備計画の点検について
- ・事業再評価 荒川直轄河川改修事業
- ・事業再評価 荒川総合水系環境整備事業

4. 公開等

- ・カメラ撮り等は、冒頭部分のみ可能です。
- ・取材に関する詳細は、別紙1、別紙2をご覧ください。
- ・報道機関以外の方で傍聴を希望される方は、別紙3をご覧ください。
- ・委員会での配布資料等は、関東地方整備局ホームページに掲載する予定です。

この記事や添付資料を、以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kisha_02823.pdf

10. 利根川水系利根川・江戸川河川整備計画フォローアップ委員会の開催

河川部
利根川上流河川事務所
利根川下流河川事務所
江戸川河川事務所
高崎河川国道事務所
利根川ダム統合管理事務所

「令和7年度 第2回 利根川水系利根川・江戸川河川整備計画フォローアップ委員会」を開催しますので、お知らせいたします。

1. 開催日時

令和7年11月4日（火）16:00～17:00（予定）

2. 開催場所

さいたま新都心合同庁舎2号館5階 共用大会議室501

住所：埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1

開催場所の最寄り駅：JR 京浜東北線・高崎線・宇都宮線「さいたま新都心駅」から徒歩約5分、JR 埼京線「北与野駅」から徒歩約7分

3. 議事（予定）

- ・事業再評価 利根川総合水系環境整備事業（利根川・江戸川環境整備）

4. 公開等

- ・カメラ撮り等は、冒頭部分のみ可能です。
- ・取材に関する詳細は、別紙1、別紙2をご覧ください。
- ・報道機関以外の方で傍聴を希望される方は、別紙3をご覧ください。
- ・委員会での配布資料等は、関東地方整備局ホームページに掲載する予定です。

この記事や添付資料を、以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kisha_02822.pdf

◆◆国土交通本省の動き◆◆

1. 直轄地下駐車場における止水板の確認結果

9月12日の四日市地下駐車場における冠水事案の発生を受けて、9月16日に全国の直轄地下駐車場の管理者等に事案の周知を行ったところです。

これを踏まえ、各直轄地下駐車場の管理者が止水板の現地確認を行った結果、止水板の設置に不具合がある箇所が、2つの直轄地下駐車場（四日市除く）で確認されました。これらの直轄地下駐車場については、代替措置として、気象状況に応じて国道事務所で土嚢を設置する体制が既に構築されています。

また、事業者からの報告後、国道事務所で修繕を行うことを既に調整済みとなっており、その他の防災施設を含めて、順次修繕を実施してきたところであり、今年度内に修繕を完了予定です。

更に、今回事案を踏まえた今後の対策強化についても、有識者委員会（9月26日設置）において検討を進めてまいります。

※直轄地下駐車場は全国で計14箇所

止水板の設置に不具合^注が確認された直轄地下駐車場

駐車場名	止水板の設置数	うち設置不具合の数	代替措置
松山地下駐車場	1	1	国道事務所で土嚢を設置
はりまや地下駐車場	11	1	国道事務所で土嚢を設置

注）電動式であるが手動でも設置可能なものを除く

この記事や添付資料を、以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_002004.html

2. 世界に類のない砂防の観測機器で台湾の災害対応を支援～さらなる災害のおそれがある河道閉塞への対応に不可欠な観測機器を提供～

今年9月に河道閉塞（土砂ダム）の決壊により大きな被害を受けた台湾へ、さらなる災害の脅威となっている残存した河道閉塞に関し、警戒避難に不可欠な湛水池の水位観測を支援するため、災害経験をもとに開発された観測機器を、（公財）日本台湾交流協会を通じて、提供します。

花蓮県萬榮郷馬太鞍溪（ばんえいきょうふあたあんけい）上流域において、今年7月末の大雨で形成された河道閉塞が、台風第18号による集中豪雨の影響により9月23日に決壊し、大量の土砂とともに湛水していた水が流下したことにより下流側の市街地で氾濫が生じ、甚大な被害が発生しました。

現在も、当該河道閉塞は一部が残存し、決壊すれば、再度下流で災害を引き起こすおそれがある状況です。下流の警戒避難のためには、湛水池の水位観測が不可欠ですが、現在の周辺の地形状況から、決壊時に流失した従来の水位計の設置および観測が困難となっています。

こうした状況を踏まえ、台湾側より（公財）日本台湾交流協会を介し、湛水池の水位をリアルタイムで観測できる日本の観測機器の提供について、支援の要請が届いたところです。

我が国では、これまでに地震や豪雨により幾度も河道閉塞が形成され、国土交通省でも緊急に対策を行ってきました。こうした世界に類を見ない土砂災害対策の経験を活かし、我が国が開発したヘリから設置が可能な観測機器（別紙）を、台湾に対する災害支援として（公財）日本台湾交流協会を通じて提供することとしました。

本機は、10月16日に台湾へ向けて発送される予定となっております。

この記事や添付資料を、以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sabo01_hh_000190.html

3. 「群マネの手引き Ver.1（群マネ入門超百科）」を公表します～地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）の全国展開へ～

国土交通省では、自治体の技術系職員に限られる中でも、的確なインフラメンテナンスを確保するため、複数自治体のインフラや複数分野のインフラを「群」として捉え、効率的・効果的にマネジメントしていく「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」を推進しています。

今般、群マネの全国展開に向けて、先行事例におけるノウハウ等を参考として、「群マネの手引き Ver.1（群マネ入門超百科）」を作成しましたので公表します。

○「群マネの手引き Ver.1」の概要

- 「群マネの手引き Ver.1」では、群マネの概念や期待される効果を紹介した上で、群マネの類型や先行事例、実施プロセス、計画策定の考え方等を解説することで、導入検討から実践までサポート。
- なお、本手引きは、「地域インフラ群再生戦略マネジメント計画策定手法検討会（座長：政策研究大学院大学 家田仁 特別教授）」及び「地域インフラ群再生戦略マネジメント実施手法検討会（座長：政策研究大学院大学 小澤一雅 教授）」における議論や群マネモデル地域での試行、先行事例調査等を踏まえて作成。

○「群マネの手引き Ver.1」での公表ラインナップ

- 手引き本編：群マネのコンセプトや実施プロセスなど全6章から構成
- ダイジェスト版：群マネの基礎知識をコンパクトにまとめたPR資料
- 付録編：検討支援ツール（現状把握、効果試算、アンケート調査作成等）やサンプル（先行事例での協定書や発注図書等）等

※手引きや付録をはじめ、群マネを進める上でのお役立ち情報や最新情報について、「群マネ特設 HP」に掲載します。

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/gunmane.html>

この記事や添付資料を、以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000365.html

4. 「不動産情報ライブラリ」コンテンツ追加およびデータ更新！～「都市計画道路」データの追加等を10月29日に実施～

・「都市計画道路」データを新たに不動産情報ライブラリに掲載し、地図上で誰もが簡単に表示できるようにするとともに、APIでの提供も開始します。

- ・また、不動産取引価格情報、成約価格情報、駅別乗降客数、指定緊急避難場所のデータを更新します。

1. 「都市計画道路」データの新規追加

都市計画決定 GIS データとして公開されている「都市計画道路」のデータについて、より便利に幅広くご利用いただけるよう、不動産情報ライブラリにおいて掲載を開始します※。

- ・ Web の地図上で誰もが簡単に表示して、地価公示、都市計画、防災情報、周辺施設など多様なデータと重ね合わせて利用することが可能となります。
- ・ あわせて API でのデータ提供も行うことで、官民のシステム・サービスでの活用がしやすくなります。
- ・ 不動産情報ライブラリでの表示イメージなどの詳細は、別紙をご参照ください。

※不動産情報ライブラリでは、都市計画区域、区域区分、用途地域、立地適正化計画などの都市計画関連データを掲載していますが、今般、都市計画法に基づく「都市計画道路」を新たに追加するものです。今回掲載する情報は、令和 6 年度の都市計画決定 GIS データを原典データとしており、今後も原典データの更新にあわせて継続的に更新予定です。

2. データ更新

- ・ 「不動産取引価格情報」・「成約価格情報」について、2025 年第 2 四半期のデータを追加します。
- ・ 「駅別乗降客数」（国土数値情報）を令和 5 年度時点のデータに、「指定緊急避難場所」※（国土地理院）を令和 7 年 10 月時点のデータに更新します。 ※現在は地図表示

のみ提供中

不動産情報ライブラリとは？

「不動産情報ライブラリ」は、不動産に関する多様なオープンデータを利用者のニーズに応じて地図上で重ね合わせて表示するほか、API 配信により民間事業者等とのシステム連携を可能とした国土交通省が運営するサービスです（2024 年 4 月開始）。本サービスは、円滑な不動産取引の促進や新たなサービス創出に活用されています。

(<https://www.reinfolib.mlit.go.jp>)

この記事や添付資料を、以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo17_hh_000001_00066.html

5. 下水道管路のマネジメントに関する技術的事項の議論を行います～第 3 回下水道管路マネジメントのための技術基準等検討会を開催～

「下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた対策検討委員会」での提言を踏まえ、下水道管路のマネジメントに関する具体的な基準等について、10 月 30 日に第 3 回の検討会を下記の通り開催します。

今回は、下水道管路の構造に関する基準等について議論する予定です。

1. 日 時： 令和 7 年 10 月 30 日(木) 10：00～12：00
2. 場 所： 公益社団法人日本下水道協会 第 1、第 2 会議室（WEB 会議併用）
（東京都千代田区内神田 2 丁目 10-12（内神田すいすいビル 5 階））
3. 委 員： 別紙のとおり
4. 事務局： ・ 国土交通省水管理・国土保全局下水道事業課（上下水道審議官グループ）
・ 国土技術政策総合研究所上下水道研究部
・ 公益社団法人日本下水道協会
6. 議 事： 下水道管路の構造に関する基準等について

この記事や添付資料を、以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000685.html